

The 2 Chome Times 2020年11月号

NO1のプレミアムストリートをめざして




NO270.


2020・11月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス11月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

 フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>

 2丁目で KOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★ 2丁目 これぞ研修旅行！

今回の2丁目旅行は、11月4日から6日までの3日間、高知の梶原町（ユスハラチョウ）、松山、周防大島に渡り最後に宮島の厳島神社を参拝する充実した日程でした。1日目は神戸空港から高知空港まで40分の空の旅を楽しみ、高知では名物中日そば、釜揚げシラスに舌鼓。その後は、はりまや商店街を視察し日本最古の木造アーケードを見物しました。理事長、副理事は視察中に四国銀行を表敬訪問し、平素の御力添えに感謝の気持ちをお伝えしました。昼食後はバスで一路梶原町へ移動。梶原町には、新国立競技場の設計を担当された建築家の隈研吾さんが建てた町舎や図書館などが多数あり、梶原町地域活力センターで二時間の充実したシンポジウムが始まりました。吉田町長様の御挨拶に始まり久利理事長の梶原町への思い、神戸市経済観光局長西尾様より現在の神戸市の取り組み、神戸市都市局担当局長手塚様より震災後神戸の復興記録の説明がありました。梶原町長吉田様は梶原町のビジョン「ウェルネス梶原」の実現に向けてどのような取り組みがあったのかをご紹介下さいました。梶原町は小さな町ですが、地域住民全員の生活を豊かにすることを目指しているそうです。1日目は隈研吾さんがデザインした「雲の上ホテル」で雄大な自然を眺めながら眠りにつきました。2日目は町全体が「隈研吾ミュージアム」と呼ばれている建築群を視察後、バスで松山へ移動し昼食。その後フェリーで周防大島にある民族学の泰斗であった宮本常一さんの記念館を視察。ここは古民具を多数収蔵・研究し外国の方々からも「日本の古い農具は興味深い」と評判が高いそうです。その後広島へ移動し、広島お好み焼で晚餐でした。最終日は、秋の宮島へ。天候にも恵まれ素晴らしい旅となりました。コロナウイルス感染対策や移動でのご手配、その他色々とお気遣い頂きましたツーリストイン神戸吉田様にお礼申し上げます。次回の旅行が今から楽しみになって来ました。次回は21年ボジョレーヌーボー解禁の日にFDAを使用して松本の超有名フランスレストラン「鯛萬」を訪問し街の繁栄を祈り、盃を掲げる旅です。是非ご参加下さい。



※写真の一押しのお好み焼き屋さん！！ 屋号は「てっ平」さん 広島市中区新天地 5-13 Tel.082-541-0012



★神戸と宮古島が直行便で結ばれました！

スカイマークの神戸ー下地島空港(宮古島)直行便が10月25日に就航し、益々観光に便利になりました。下地島空港は長年パイロットの訓練専用の空港でしたが、2019年に旅客ターミナルが整備され、宮古島第二の空港として生まれ変わり、この度神戸と結ばれました。そのPRの為に、ミス宮古島が来神されセンター街のアートスクエアで沖縄の小物販売を交えて宮古島の魅力を紹介していました。下地島と宮古空港のある宮古島とは橋で結ばれていて車で30分程の距離です。宮古島は自然の美しいカラーで満ち溢れていて、とてもその魅力を一言で言い表すことは出来ませんが、特に「宮古ブルー」と呼ばれる青にも緑にも見えるその色が季節や



天気そして時間帯にも刻々と変化していく美しさを堪能できます。勿論、ウミガメと出会えるアクティビティや宮古島の郷土料理も充実していますし、夜は民謡居酒屋で三線ライブを聞きながら、オリオンビールで乾杯なんてことも出来ます。是非この機会に「宮古ブルー」を貴方も見つけに来ませんか！！

★第16期収蔵作品の作者、谷本 景さんのご紹介

来年の2月に予定されています16作目となる作品の収蔵式典ですが、その作者の谷本 景さんについて簡単にご紹介します。谷本 景さんは三重県伊賀市に在住されている陶芸家で、その陶房は三田窯という名門の茶道具を専門に焼く窯として知られていました。谷本氏はパリに渡られて永年活躍され、その「茶陶の伝統」の中に日本美の普遍性、それもグローバルな視野の中での日本美の普遍性を追求されてきたようです。そして桃山期の非シンメトリーを基調とした豪快で破天荒な作情を根源とする伊賀茶陶の造形に、さらに「縄文的な情念やダイナミズムの世界」を使ってアプローチして行こうと作陶されて来られました。なかなか素人には難しいコンセプトですが「独特な美の世界」を永年に亘って追求されてきた偉大な陶芸家であることは間違いありません。今回の収蔵作品も既に街に到着、来年の2月6日の収蔵式が楽しみです。



★高知県立美術館へいざ！

今回の2丁目の研修懇親旅行は高知県梼原町経由で広島から帰路につきました。今回GO TO 商店街を利用



して来年2月6日(土)にアートミュージアム収蔵式典と建築家の隈研吾先生をお迎えして講演会を企画しております。先生は東京大学工学部建築科を卒業され、現在東京大学特別教授をされており、また新国立競技場の設計者として世界的に著明な建築家であられます。先生の木造建築の原点が梼原町とのことで今回訪れたことは大変勉強になりました。先生をお迎えして開くこの講演会は画期的なものになりそうです。また高知県立美術館では「限研吾展」が開催されています。会場には先生が建築された

様々な建物のミニチュアが精工に作られていて、又その思いを述べられており大変感銘を受けました。特に先生が建築された富山県のガラス美術館や図書館などがある複合施設「Toyama きらり」の内部がGoogleをかけて観れる360度のバーチャルリアリティーで体験でき、是非一度現地を訪れてみたいとなりました。私達の街三宮センター街も老築化によって建て替え等の必要が目前に迫っています。今回企画された隈研吾先生の講演会が再開発の街創りにお役に立てれば幸いです。ご関心のある方は2丁目事務局に先生の図録がありますので是非ご高覧下さい。



(オリンピックスタジアム)

「限研吾展」場所：高知県立美術館 日時：2020年11月3日～2021年1月3日 時間指定予約制
詳細は高知県立美術館ホームページ <https://moak.jp/>にてご覧下さい。

★編集後記

今回、親睦旅行でお伺いした高知県の梼原町や直行便で結ばれた沖縄の宮古島ですが、やはりどちらも人を魅了する個性溢れる特色があります。梼原町には隈研吾氏が設計した建築物や志士脱藩の道などがあり、宮古島は「マリブルー」は勿論のこと、旧市街地の史跡や文化財を訪れる綾道(アヤンツ)ツアー、宮古島の伝統工芸品を知り、体験する「宮古上布の糸積み体験」など、枚挙に暇がありません。我が街三宮でも神戸市や民間の協同による長期的な視点に立った再開発が着実に進んでいます。それは新たなコンクリートによる構築物に囲まれた都市を目指すのではなく、どこか人間味に溢れた温かみのある環境に基づいた街創りになるはずで、その中には梼原町のような木造建築も一つの手段に成り得ますし、音楽や芸術の香りが漂う空間も必須になって来るでしょう。そしてやはり最後には人が人に示せる温かさが街の魅力を最大限に引き出すのだと思います。その様な素敵な街を創りあげていきたいですね。



(梼原町 木橋ミュージアム)